



# 6月定例議会

## 4,796万9千円を追加補正

### 6月定例議会のあらまし

6月定例議会は6月17日から28日までの会期12日間で開催され、一般会計補正予算をはじめとする議案7件、寄附採納報告2件、請願5件、陳情3件が上程されました。各委員会審査の後、28日の本会議に於いて町有地譲渡方についての陳情を除くほかは原案どおり可決・採択したあと、議員提案による意見書4件を全会一致で採択して閉会しました。

#### 主な議案

※昭和57年度一般会計補正予算  
提出された補正予算の主な内容は農村総合整備事業、漁港建設事業、小中学校修繕費、漁港施設災害復旧費などで7千93万9千円増額。減額されているのは海岸保全施設整備事業費5千219万5千円などであり、これらの補正により一般会計の累計は55億3千96万9千円となりました。

※低開発地域工業開発促進法施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正  
改正点は低開発地域工業開発促進法に基づき、従来60年迄に立地する企業の特典が2年間延長され62年迄となりました。昭和57年4月1日以後の取得に係る固定資産税から適用するものです。

※入善町国民健康保険条例の一部改正  
前年所得金額が24万円を超えない世帯については、被保険者均等割、世帯別平等割の額を前年度均等割額及び平等割額の10分の6の額を減額し、また前年所得金額が24万円、それに世帯主を除く被保険者の数に18万円を加算した金額を超えない世帯については10分の4の額を減額するものです。

※工事請負契約  
○町営住宅(駅南団地新築工事建築主体工事)  
6月7日に11社を指名し現場説明を行い15日に入札を執行したところ、1億3千200万円(約五十里工務所に落札しました。工期は58年3月10日です。

○入善漁港離岸堤災害復旧工事第2工区  
6月17日、町内8社を指名し現場説明を行い25日に入札を執行したところ、3千720万円(寺林建設株式会社に落札

#### 意見書4件を採択

最終日、28日の本会議において次の意見書4件が採択されました。

◎議員提出議案  
○農産物輸入自由化枠の拡大を仰る意見書  
○農業基本政策の確立、穀類農業の強化ならびに・米・麦の政府買入れ価格等に関する意見書  
○地域の公共交通確保に関する意見書  
○核兵器の完全禁止に関する意見書

それぞれ内閣総理大臣、農材水産大臣をはじめ、関係各省大臣宛に意見書を提出することになりました。

しました。工期は57年9月10日です。

#### 人事

#### 人権擁護委員に 本多忠義氏

(上飯野)

現在、人権擁護委員である本多忠義氏が57年6月15日をもって任期満了となるので、後任候補者として同人を再び推薦し決定しました。

#### 議会日誌

5月	13日	婦中町産業建設委員視察来庁
	18日	茨城県鹿島町議会視察来庁
	19日	町村議会議長会研修視察
	21日	(山形県ほか) 福島県相馬郡新地町産業建設委員会視察来庁
	21日	産業建設委員会舟見山植林地調査
	28日	産業建設委員会舟見山植林地調査
	31日	東部議長会総会
6月	1日	議会運営委員会
	2日	東部議長会研修視察
	3日	(石川県ほか) 町村議会議長会臨時総会
	4日	議員全員協議会
	5日	第4回入善町議会臨時会
	5日	議員全員協議会
	17日	第5回入善町議会定例会(初日)
	18日	議会運営委員会
	21日	議会定例会(二日目)
	22日	総務委員会
	23日	産業建設委員会
	24日	文教厚生委員会
	28日	議会定例会(最終日)
7月	2日	下新川3町議員協議会
	6日	上・中・下新川郡議長会
	7日	新川広域圏議政行政視察
	9日	(長野県ほか) 議員研修視察(北海道)
	13日	議員研修視察(北海道)
	17日	岩手県紫波町議会視察来庁

# 総合計画の策定に質問集中!!

## 町政一般質問

### 老人いこいの家の建設について 規模・機能・場所を伺う

岩場 俊議員(民社)

問

40年の我が町の65歳以上老人人口は2千272名、それが55年には3千599人とハイスピードで高齢化が進んでいる。総人口に占める割合も12%となっている。町長は57年に老人いこいの家の改築調査を行い、58年には新築の考えを3月議会の提案理由の中で述べられている。建設に当たっては健康センターをも兼ねておられるのか、健康増進の面からも芝生の広場でゲートボール等楽しめるなど、その規模、機能、場所についての考えを伺う。

町長

指摘のとおり老人人口は国の9%、県の11%を上廻っており、高齢人口の実態に即した行政対応に迫られている。現在の老人いこいの家は老朽化しており58年に老人福祉センターを建設し、59年にはゲートボール施設を計画している。建物は耐火若しくは簡易耐火とし、面積は1千㎡ぐらいたしたい。機能については、生活相談、健康相談あるいは健康審査、就業の指導、機能回復訓練の実施、教養講座など実施出来るものとした。設備は生活相談室、健康相談室、機能回復訓練室、集會室、教養講座室、

図書室、浴室など考えられる。場所については交通の問題などがあり検討をしたい。

問

長い間の懸案であった入善駅特急停車が本年11月には上り下りとも2本止まることになった。更に高速自動車道の朝日インター迄の開通は58年であり、入善も高速時代に突入する。問題はこれらを町づくりのためにどのように活用をはかって行くかである。特急停車は多分に政治的な色彩の強い解決であり、いつかの時点で外される運命にもあるとも考えねばならない。特急停車駅にふさわしい町づくりを策力で勝ちとる積極的な姿勢が必要でないか。

町長

町をはじめ特急停車期成同盟会でも国鉄関係、国会議員へお願いしてきた。しかし地元の熱意が採算ベースに乗るまでであり、金銭局は今までの実績で判断したものと考えている。特急停車を定着化するため大いに利用するなど広報などでアピールする。あるいは11月15日の特急停車期成同盟会が解散しても、入善駅の後援会のような組織で残したいとの案も出て

おり尊重して行きたい。その他、駅前美化、道路の整備も関連する問題として考えねばならない。

問

特急停車と高速道の結びつきを考えると、入善町の産業構造からみて黒部あるいは朝日インターへの進入路がはたして現在の幹線道路としての8号線のみで良いのか、また神林にできるパーキングほどの程度のものであるか。

町長

黒部インターチェンジあるいは将来予想される新幹線吉山内駅への連絡のため、黒部川の新しい架橋というものは将来の目標だと考えている。神林地内のサーピスエリアは面積2千㎡に普通車52台、大型20台、トレーラー6台ぐらいうち駐車できるスペースを確保したいとのことである。利用状況を見ながら自動販売機、食堂なども考えられている。今一つは入善町を象徴するようなシンボル塔の設置といふことも条件になっていると聞いているので、公団も町と煮詰めたと言っている。

再質問

老人福祉センターと健康センターを併設するならば、乳幼児の検診などでも交通の便利な所でないならばならない。それを補充する意味で福祉バスなど廻すとすれば問題はなにか。泊でも止まるという特急は真に意味があるのか。そういう意味で政治的色彩が強いと言った。入善は通勤者の多い所であり、富山県の町村の中でも工



老人いこいの家

業生産額は低位であり、入善駅の売上増や特急停車の存続はできるのか。

町長

老人福祉センターに機能回復訓練施設を併設したとしても、乳幼児の検診や成人者向けのいろいろな保健活動のため健康センターは残さねばならない。場所によっては福祉バスも考えねばならない。特急の停車駅で削除された所もあるのは事実だが、利用するという経済的支えが大切だ。一朝一夕にして経済的基盤の拡大は困難だが、工場誘致に不断の努力を積み重ねたい。

- 23日 長野県上山田町議会視察 来庁
- 23日 総務委員会
- 27日 新川広域圏議会(魚津市)
- 28日 議会だより編集委員会
- 30日 議員全員協議会(出し平ダム建設予定地視察)

# 新幹線ルートへの対応は

板川 清治 議員(自民)

**問** 入善駅より8号線へ通ずる駅前街路中央通り線の着工については君島門山寺線の完了後に取組むとのことである。既存の町に相当幅広い道路を作るとなれば問題もでてくる。黒部市や魚津市に負けないような街づくりをするためには40m巾など広いものでなければならぬ。今の計画どおりの幅員で行うとなれば将来に悔いを残す。代案として、魚津市が行ったように思い切って駅を東へ移動させるなどして幹線道路を設置したらどうか。

**町長** 町の計画とすれば20mの路線を想定しているが移転などが伴うので地元では16mぐらいにして欲しいという要望もある。駅前と8号線を結ぶ道路というのは、市街地商業区域の中を縦に割る、また通動、通学者などで国鉄を利用されるのは少なくなって来ているなどの問題もあるが、8号線がもっている機能とは若干異なる。地元関係者とも十分話し合い59年、若しくは60年に一部着工したい。

**問** 高速道路の南500〜600mの所に何

年後かにはつきりしないが新幹線が通ることになっていく。しかし道路と線路にはさまれた地域農民などは、日陰による米の減収と騒音など新型公害で悩まされることは必然である。奥西の方だが新幹線ルートの変更について議会と当局が一丸となって県へ陳情に行っており、我が町も行動を起こすべきでないか。またこれらの公害から守るため散策できる歩道あるいはサイクリング道路、また日陰となる所は果樹などの作付けなど考え、それら新総合計画に盛り込むべきでないか。

**町長** 高速道路の開通に伴い騒音、振動、電波障害などいくつかの問題が想定される。騒音については環境基準の範囲内で、日照及び除雪については土地や民家に影響を及ぼさない設計がされていると公団はいつている。新幹線については臨調の報告などで不透明な部分も多いが、着工段階で多く問題がある。朝日町のように舟見地区市街地の南側を通るような路線は影響が少ないので、路線変更には運動を展開すべきでなからうか。

## 財政課長

高速道路附近の農作物はどのようになっているか成育調査し、必要があればその対策なども総合計画に入りたい。

**問**

入善町は良質米の産地といわれているが国策として大きく転作を強いられる。大豆、小麦、そば、大豆を作りながらも収益度外視してしかたなしに作っているのが現状でなからうか。本場に農民の気持ちと将来展望に立つならば新エネルギーとして着目されているヒマワリを作付し、石油に代る資源としてヒマワリ油を取る。このように農業施策にしても発想の転換は必要でないか。

**町長**

ヒマワリの作付については主旨は敬聴するが、現実には極めて困難な面もある。

## 農政課長

新規作物の開発には気象、土壌の条件、農家の意欲の掘り起こしなどが大切である。県など指導機関を通して努力したい。

**問**

無雪害街づくりについて新総合計画住民アンケート中ではトップである。今、井戸一本80m掘れば一千万円といわれているが、水道計画とも合わせて冬期間消雪に利用するなど考えられる。消雪に対する町の計画はないか。

**町長**

県の指定を受け無雪害都市づくり事業を行うことを考えていた。

残念ながら今年指定に入らなかつたが現在も努力中だ。入善町は水の心配がないといわれているが今一度地下水を含めて、将来の需要関係も60年を目途に調査したい。

**建設課長** 融雪装置は56年末で県道8路線、

# 総合計画に

## 大きな期待を

五十里 隆 議員(自民)

**問**

21世紀に向けた入善町の展望を考える時、今回の総合計画に大きな期待を寄せている。町長は開かれた町政ということでアンケート調査また住民の集い等努力されている。しかし現在の不透明な経済情勢や町財政そのものが公債費や債務負担行為の額が一般予算に匹敵している中で町民に夢を与える施策を考えていくのか。財政計画が立つのか。モデル事業が完了した後の施策はあるのか。

**町長**

経済社会の著しい変動の中で町民のニーズは多様化し行政需要は高度化増大している。貿易依存度の高い資源のない我が国経済は国際経済と連動しており不透明な要因もある中で、65年までの財政収支の見通しを立てることは困難な面もあるが、計画は絵に書いたもちではなしに可能なかぎり財政

3千600m、町道7路線2千110mであるが、今年度は流動的な面もあり発表できる段階でない。これらを町が行う場合、電気料の全額と工事費の20%は地元負担なので協力願いたい。

的裏付けをしたい。歳出については全事業の見直し、歳入については町税の正確な把握。国、県支出金は57年の補助基準に変更はないものとして、町債は収支と償還額のバランスを考え、健全財政を堅持したい。

農村モデル事業は58年で終了するので国の方で今計画されているミニモデル事業に59年から取り組まれるよう働きかけたい。町の財政規模の状況から必ずしも夢を盛り込んだ形には現実にはならないかも知れないが、今中央公民館が非常に老朽化を起しているため、新しいものを作りたいという要望もあり、できればそういうものをひとつの総合計画の夢のような形で考えている。

**問**

市街地への人口集中と企業の立地によって河川の汚れや雨季における急激な増水が下流に住む住民

の悩みで昨年の12月議会に請願書が提出された。さきの地区集會ではこの要請を町長は中部かん排事業をもって改修するとの事であったが、この事業は入善青島用水の一部であり請願された河川は高登川の一部300mのみで、ほとんどの河川は入っていない。町長の力をもって中部かん排事業に組み入れて頂きたい。また市街地の下流農民は用排水設備の維持管理を面積にして約半分、戸数にして7分の1、人口にして5分の1とわずかな農民が支えて来た。非農家の負担や行政の協力も必要と思う。町長の考えはどうか。

町長

この事業は国と県で70%の補助がある非常に高率の事業であり、ぜひ関係の土地改良区の協力を頂き

## 総合病院を建設する考えは

広瀬 義孝 議員(自民)

情報公開条例についてであるがこの問題については去る56年12月定例会で一般質問がなされ、町長は制定に向けて検討委員会を作るといわれ内部委員会を設置されたが今迄法で許される範囲のものが公開されていなかったのか。教育、農業

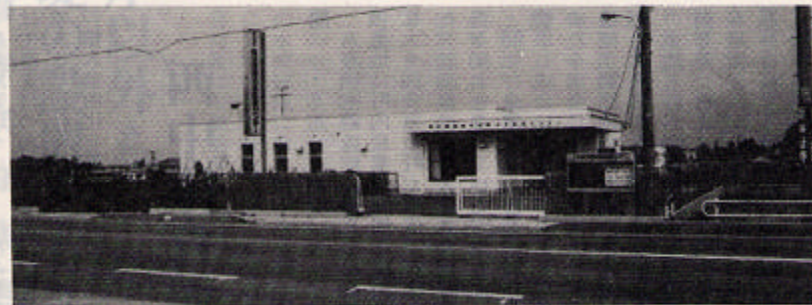
監査など各委員会として議会の関係等まで公開の対象となるのか。山形県金山町の情報公開条例の

ながらこの事業を実施したいと念願している。しかし地元に限られた農家の負担だけであとの30%負担するということは極めて困難である実状も十分理解できる。先般県庁や町村会事務局に法的な問題を問ひ、目的税として条例をもって一部一定の人達から税のような形で徴収するということは法的に困難だと聞いています。他市町村でも入善と同じ条件の所も沢山あることなので実態などの調査をして対処したい。この種の事業に対して町は3%の補助をしているが入善校下の特殊性を考えても良いのではなからうか。いざれにしても放置できない問題なので前向きな形で仕事を行うということを確認して行きたいと考えています。

制定後、具体的にどのように変化したか、また公開を拒否された場合に審査があると聞き、問題はないか。また福島県新地町ではプライバシー保護条例ができたこと聞くがこの条例をどのように受けとめて

町長

情報公開については、かならずしも新しい条例を作らなければ法で許されるものや、個人の秘密を



新川地区急患医療センター

書で過去の永久保存及び条例施行期日からの全般文書に限っている。4月より請求1件あったが、問題は文書の保存管理が大変複雑であり今後も検討して行くとのことである。公開請求の異議申し立て出来る公文書公開条例審査会は、町民各界各層代表者及び学識経験者5人をもって構成されている。プライバシー保護条例は福島県新地町など全国94市町で、制定されているが、入善町では54年の電算処理業務管理運営規程や地方公務員法第34条で十分守られている。また町長の権限外のものも公開の対象にはならない。

問

住民アンケートでは町民の38%の方が保健医療の充実を望んでおり、この際大きな総合病院の建設する考えはないか。近年の高度経済成長、文明の向上に依り交通機関が発達した現在、隣接市町へ出向くのもさして変らない。しかし活力ある行政を望むなら、工場立地、分譲宅地政策と同様その波及効果は雇用の拡大、周辺商店など大変なものがある。また4月1日より実施された高額医療費交付実績はどうか。また保険外の業代等で高額請求され困っている人の話を聞くので実情を把握されることを望む。

町長

総合病院の建設要望の多いのは疾病構造の複雑化などにより高度の医療を近くで受けたいためで理解できる。ちなみに黒部の市民病

院における入善町の利用率は37%、泊病率は15%位と推測している。しかし病院を建てるとなれば、約100億はかかるので、財政的な問題があるように考えるので総合計画へ盛り込むことは極めて困難だ。しかし企業や事業団あるいは公務員の共済組合などが病院を建設するという場合は用地の斡旋など誘致に協力したい。今入善町開業医の皆さんがこの機会に一致団結して総合病院を建設されることも一つの方策でないか。高額医療費の貸付限度額は月額50万円までであり、保険外診療費は除かれている。4月1日からの利用状況は、現在1名、申請中は2名である。

問

本年の天候は去る33年かのウシカの大発生した年に非常によく似ている。病虫害等の対策について万全を期せられているか。

農政課長代理

稲作の成育状況は田植後の高温多照の天候の結果、豊作型タイプできている。病虫害の発生を調べため、町内4ヶ所に子察灯を設置し調査を共済組合に委託している。毎日観察し、時期に適した病虫害の防除徹底を期するため農協共済を通して指導を行い、また広報などでもビジュアルしている。今年も懸念する問題として、例年夏買米を生じさせるカメ虫には徹底防除を行い、良買米を生産し売渡限度数量の確保に努めたい。

除くものほかなどは情報を公開出来ないものではない。ガラス張りの行政の実態をより理解してもらうために検討委員会を設置し検討させている。具体的な方法としては財政事情の公開を今までより詳しく公開した所であり、12月に町職員給与の実態を広報で公開したい。

助役

金山町の情報公開の対象は公文

# 西入善駅付近の整備を図れ

野坂 俊一 議員(自民)

問

海岸保全強化について入善町海岸は高波により再三多大の被害を受けて、越波した海水で砂礫が飛散し、民家、農作物、構築物の損失、住民の苦勞は大変で、建設省機関に陳情しても青木から下飯野にかけては保全5か年計画にも入っていないと聞く。被害のないよう防波堤消波工など応急処置を町はどう進めるか。

町長

海岸の波浪浸蝕や潮風害で離岸堤、副堤の設置を度々陳情を行なっているが、町内海岸に離岸堤は66基つくっている。現在18基入っているが、昭和50年までに26基で全体の40%の計画である。副堤は58年までに全部完了予定であり、災害復旧もその都度工事を行っている。おっしゃるとおり種子沢地区は5か年計画に入っていないので不満を持っており、中央官庁に陳情し計画に組み入れ、早急に離岸堤の設置をしたいと考えている。

問

西入善駅周辺の整備であるが、入善駅と市街地は都市計画事業等で着々と進んでいる。しかし西入善駅は年間利用者3万5千人もあり、自転車、自動車等の駐車場も十分



西入善駅前

でない。一方、駅の用地は雑草が繁り放置のまま。この場所を駐車場などに利用できないか。また駅の周辺は地下水も豊富で、これを利用した冬期間の消雪をはかる必要がある。町の考えを問う。

町長

ご承知のとおり西入善駅は国鉄の合理化で無人駅となったが、地区の協力を得て西入善駅運営協議会をつくり、町の予算も付けて地元の人々の協力でキップ売上げ手

飲料と町費でまかなっている。環境の変化で利用客は年々減少しているが町も自転車置き場をつくり200台収容を考えており、利用者も協力し環境の美化に努めてほしいが、町も4月中旬除草と雑木の除去を行った。また、国鉄当局関係機関と十分協議し、環境美化、通勤・通学者の心良い利用に一層努力したい。

問

農業施策について、現在の農業は生産資材の高騰等で苦しい現状である。それに加えて国は農産物の輸入自由化を進めようとしてお

町長

# 西中体育館床の改修を

九里 郁子 議員(共産)

問

入善精密鍛造KKの8千㎡余りの土地は町内産業の発展と雇用の拡大を図るため町が無償で提供した。計画書によると設立当初従業員が30名となっていたが現在6名と聞く。企業に対し計画の履行を要求し議会に報告すべきでないか。また今議会に西島助蔵氏より入善機械工業団地内所有地の譲渡方について陳情が出されているが、この土地も昨年議会が私が疑惑を指摘した。現在スクラップ同然の車が放置されている。町財産の取り扱いをめぐる疑いを正すことこそ町長の基本姿勢でないか。

町長

会社の目録見書にのっとって仕事をさせるのは私の仕事である。発足当初30名、10年間で90名の予定であった。実際今は6名なので早急に目録見書とおりの経営を強く要望している。経済状況も理解できるが会社の努力に期待したい。陳情されている予定地については某社に対し、昨年2回文書で移転撤去を通告した。使用については町に返還される前にセンターと某社と約束があったので、55年度分の使用料をセンターより17万9千600円を受けとっている。協同組合との経緯があるので話し合いで円満に解決したい。

り、一方で転作を強いられている。町の総合計画の策定にあたっては21世紀を目指した地域農業の振興を重点に考えるべきと思う。この点町の考えを問う。

町長

転作、農産物の輸入、食糧自給率の向上の問題は、国の農業施策に影響が大きく、また国際競争力をつけることも極めて困難である。しかし入善町は良質米のコシヒカリを中心に26万俵の生産基地であり、町はこれを基幹産業として位置づけをし町段階でできる限りの振興策を考えたい。

問

武村福祉会館の運営と活用について尋ねる。まず町の商業経営の安定を図るため町外業者の営利を目的とした使用は規制すべきでないか。第二に利用しにくいとの声もよく聞く。それはサークル活動などにおける使用料の問題があり、減額や免除の枠を広げるべきでないか。それと駐車場や結婚式場を含めて問題があり設備の補充を図るべきでないか。

町長

会館の年間の予算は約3千万円でうち1千万円〜1千200万円は使用料収入である。町外業者の出張販売については通産省の通達による「通産局の許可を受けてから」の使用申込みはなかった。貸すことにより町が収益をあげる気持ちはもっていない。町外業者に貸すことで若干トラブルが起きていたので、その後運営協議会を開き町外業者の利用問題について協議をしてもらった。何も町の業者の犠牲において収益をあげようとは思わない。利用については町民の福祉向上にどう使っていくかが大切であり、料金、施設の構造など十分前向きに見直していきたい。

助役

これまで一度も運営協議会はもたれなかったが、商工会関係の方



福祉会館前の駐車場

をはじめとして5月17日に開催した。今後協議会の規程化も考えている。協議の中でも町内の業種に関連あるものは町外業者の使用は認めないとの意見もあるが、いろいろ検討し対処したい。使用料については特別高くないと思うが情報を取り、高いものは是正していきたい。結婚披露宴会場は広くし、またその参加者の下足は認めることとしたい。またロビーに広接セツトの用意や寄附された美術品を展示し、利用しやすいよう図ってきたい。

問 西中学校体育館と同じ塗床の危険性について専門家が指摘しているところであり、私はこれまで一般質問や委員会などで木質床への改善を要求してきた。当局は改善する考えはあるのか。

町長

堅すぎる、滑らない、濡れると滑りやすいなどは十分理解できる。卓球、バドミントンには適しているがバレー、バスケットには不向きなど一長一短ある。このような床は全国的に数多くあり、一概に不適當と決めるのは早い。十分専門家の意見を聞きながら、取り組みたい。ダメとの結論になるとすれば約30cmあげフロアリングとする。附帯工事費を含め約2千900万円は必要である。

### 住宅密集海岸以外も 離岸堤の設置を

佐藤 学 英 議員(自民)

問 町民の運動が爽り上越新幹線の開通に併せ入善駅に特急が停車することになったが、やがて、上野大宮間の新幹線開通により大巾なダイヤ改正が予想される。これに入善の対応が左右され特急停車が消される心配がある。このためにも過去実施した町民劣が好評であったが、入善駅特急停車促進同盟会を入善駅への協力組織にどう考え

再質問 西中の床に対し、これ迄教育委員会としてどのように取り組んできたか。  
教育長 調査をさらに重ね、8カ年の新総合計画の中でも取り組みたい。全ての面で、研究を進めていきたい。

町長

問 町民アンケートによる雪害対策の要望は舟見地区では86%と高い。消雪装置の設置は住民の悲願であり、その対策は。

町長

舟見地区の消雪装置の主体は県なので、県議にお願いして地下水の水源確保に取り組みたい。早急に全町的、地域的、特に舟見の雪害対策にも鋭意努力したい。

列車の乗務員に花束贈呈、駅周辺地区の協力による飾り付け、花火の打ち上げ等予定している。入善駅特急停車期成同盟会は初期の目的が達成されたから解散し、将来のダイヤ改正には駅の収益増大に町旅行会等と協議し運営したい。自転車置場の乱雑は関係機関と協議し適切な整理整頓に努めたい。官舎跡地の利用だが、現在町は、花壇、自転車置場等有料で借地して1平方米当り200円を支払っている。自転車置場の利用は殆どが国鉄の利用者です。国鉄と十分話し合って対応し、対策を考えたい。

町長

問 北陸新幹線建設は利便性から期待が大きい。赤字国鉄と言われているが建設はされると思うが、地元負担の問題、発表ルートの町への影響、開通後の騒音振動等の問題をどう考えるか。

町長

鉄道建設公団のルートと駅の公表で関心が深まった。臨調第4部会で着工見合わせ、自治省も地元負担不適當、経団連会長も財政再建見通しづく迄困難と言われている。県知事は国土経営からしても必要で関係方面に早期着工に全力をつくすという。県議会は地元負担を盛り込んだ法議をする。町の対応は地域格差差正から公的には新幹線早期完成を期待するが、北陸自動車道と平行するとか、新幹線のため到来線の間引きで個人の足が不便になることが心配され、地元

負担も建設費の応分では町財政では不可能に近い。ルートについても問題は大きい。下新川三町の首長とも話し合い一致して当りたい。

問

浸蝕の激しい海岸附近住民は高波の被害に気を配っている。離岸堤は防止に最大の効果があるが、その設置は住宅密集海岸以外あまり進んでいない。町独自でも離岸堤一基ぐらい据付の意志あるか。また砂礫の流入による田畑の損失にどう取組むか。入川河口船溜りも土砂の流入があり船あげ場に役立たぬ。町の対策を聞く。

町長

離岸堤は昭和46年から進め海岸附近に民家のあるところはほぼ終っているが、人家の離れているところは未完成で関係機関に陳情し早期設置したいが、苦慮するのは設置場所の順位である。被害状況を総合的に判断して対処したい。防潮林も町が苗木を提供し地元の協力で一部植栽を進めている。

建設課長

離岸堤の設置は本年二基入ることになっている。一基は人家密集地の方と他の一基は被害等考え0.5基ずつ二カ所と見込んでいます。

商工水産課長

春日船溜り掘削ですが工事に当たって道路幅が狭く小型機械が入らず経費が高くなり土砂の搬出場所、地元負担の問題など最善をつくしたいのでご協力願いたい。

# 入善町立図書館の 充実方法は

大林 政雄 議員(自民)

問

読書は自らの生活を充実し人間形成を助長する上に必要であり、今後生涯教育が強調されている。そのためにも図書館への期待とその役割は非常に大きく測り知れないものがある。今後学校教育と共に社会教育の重要性を認識され町民の教育の向上と文化の発展に意を注がりたい。図書館の充実強化に努力され、本年度の図書購入費を昨年より50%の200万円を上積みし650万円計上されたことは評価する。しかし、その利用は3万8千冊余りもありながら利用者は非常に少ない。

○町民に対するアピールの不足  
○福祉会館の2階という気軽に入館出来ない場所の問題  
○利用時間が17時30分で締切られるため夜間利用が出来ない  
○新蔵書の宣伝不足  
などが原因ではないか。またベストセラーも結構だが専門的な本をもっと購入すべきでないか。

町長

図書館の充実を図るのに司書一名を配置して人的な面で強化。運営のため図書館運営協議会というものを作り、そこで購入図書や図書館のあり方を検討したい。協議会は学識経験者や図書の利用者

から5名選任し、利用者の意見を反映したい。利用については町報で毎月新刊図書購入状況を知らせているが、読書会サークルの育成をしながら図書人口の増大を図りたい。指摘の通り武村福祉会館の2階にあり、できれば将来の計画として独立図書館を建設したい。

教育長

サービスマンで地方の図書館は県立図書館のキーステーションにしている。図書及び資料は相互に貸し出しているの無い場合や資料などは県から取り寄せている。ま



町立図書館

た何かわからないことがあり参考書で調べてもらいたいような場合、電話で照会いただければ調べている。充実面については親しまれる図書を重点にしており次に郷土資料の特色を入れて行きたい。なお離れた方々への不便を解消するために移動図書館を町内10カ所に設置している。夜間の利用については行っていないので移動図書館なりを利用して頂きたい。

## 臨調第3部会報告に 対しての考えは

福沢 万次 議員(社会)

ものはあるのか。補助金等超過負担はどれ位なのか。次に市町村の行政能力の向上等のため、合併を含む行政の広域化について指摘しているが町長の考えを問う。

町長

国の関係の委任事務では国民年金や日雇健保の事務、県では県民税の徴収事務など数えればきりが無い程沢山ある。超過負担事務費は一つ一つ積算は困難だが、県の場合委任事務費として44万1千円交付されている。臨調の地方への仕事の転嫁については十分警戒していかなばならない。基準行政とは地方交付税の財政需要額の対象であり、例えば上青小建設費について国の基準単価、面積などで差があり56年度での超過負担は約9千万円である。その他駅南団地、消防施設などがあり臨調ではなお増大が予想される。全国町村会などを通じ地方への負担転嫁するやり方を見直しされるべきと考えている。町の施策として国を上廻るものは、56年で身障者の医療費など福祉関係で約900万円強、水田再編対策で約2千500万円である。広域行政については、行政区域をそのままにして共同処理方式での運用が賢明と思う。合併の問題は軽々と口にすべきでない。

問

近年スポーツが盛んになり現有設備では消化できない。総合体育館や夜間照明施設を早急に行なって欲しい。また高齢者スポーツの各種目開発に合わせて町の代表する

種目があっても良いのでは。  
町長

財政的に一挙に無理なので藤ノ木のはな、飯野地内の河川敷利用も手がけられている。夜間照明は飯野小学校トランス容量など調査し努力したい。テニスは入善高校のコートの開放を要請したい。その他皆様の意見を聞きながら対応したい。

問

新幹線ルートが発表されたところ沿線市町村では変更を求める声が出ている。朝日町では早々に新幹線対策特別委員会を設置して変更を陳情している。町の中心を横に分断、北陸自動車道と並行されるなど谷間の住民の生活環境などから、また在来線との関係など新幹線建設に明確な態度を表明しなければならぬ。また今県議会で地元負担を盛り込んで早期着工の決議をすると言っているが、これはきびしい地方財政を圧迫するものだ。自治体の財政負担等を犠牲にしてまでの建設に意義があるのか。町長の考えは。

町長

朝日町が陳情する山側路線には基本的に賛成だ。どう運動して行くかは問題だが議会でも特別委員会の設置をお願いしたい。地元負担問題はありますが、山側ルートであれば強い反対はしない。在来線が見捨てられるのではないかと、いうことについて、あらたに見直さねばならないのではないかと。町村に負担せよとなれば町財政では不



# 北海道研修視察



7月13日より4泊5日、議会議任委員会合同で流水の地、北の網走市をはじめ道央の先進地土幌町、池田町を中心に北海道行政視察が行われました。厳寒の地に生きるために原野を開墾し、生産から加工流通までの行政指導をしている町。自主財源の確保のため自ら企業経営している町など、各々のア

可能であり地元負担には反対である。知事は過重な負担は強いられないものと安易な見通しを持っておられるが、そんな生やさしいものではないと考えている。小松空港は50人乗り5往復している。石川県は新幹線の必要を感じていないようであり、富山空港の利用者の増大を考えれば新幹線建設には暗いカゲを思う。本当に必要なかどうか再検討の時期が間もなくくると思うので、事態の推移を見ながら対処して行きたい。

イデアと発想の転換により成功している市町を見、行政として何を行わねばならないか深く考えさせられたところです。

- (1) コミュニティ開発とボランティアの推進
- (2) 研究学園都市の建設
- (3) 地場産業の高度化と新規企業の誘致など

## 文教厚生委員会

委員長 池原 金与志

村工業の誘致によって、寒地作物の流通化を図り農業経済の安定に努めている。

- (1) 馬鈴しよを原料とした食品コンビナート等農業に密着した農
- (2) 母胎から楽土」まで長い間開拓の功労者として社会に貢献してきた老人をいたわり、次代を担う子供達のために総合福祉施設「愛の町」を建設。そのために借入することは止むを得ないとする積極的な面

池田町では、町民福祉、産業、教育など行政が行わねばならぬ仕事に自らの財源を求めている。

池田町では、町民福祉、産業、教育など行政が行わねばならぬ仕事に自らの財源を求めている。

感嘆したところではないでしょう。池田町では、町民福祉、産業、教育など行政が行わねばならぬ仕事に自らの財源を求めている。

感嘆したところではないでしょう。池田町では、町民福祉、産業、教育など行政が行わねばならぬ仕事に自らの財源を求めている。

感嘆したところではないでしょう。池田町では、町民福祉、産業、教育など行政が行わねばならぬ仕事に自らの財源を求めている。

感嘆したところではないでしょう。池田町では、町民福祉、産業、教育など行政が行わねばならぬ仕事に自らの財源を求めている。

感嘆したところではないでしょう。池田町では、町民福祉、産業、教育など行政が行わねばならぬ仕事に自らの財源を求めている。

感嘆したところではないでしょう。池田町では、町民福祉、産業、教育など行政が行わねばならぬ仕事に自らの財源を求めている。



視察記

産業建設委員会

委員 野坂俊一

産業建設委員が現在取り組まなければならぬ重要課題の一つに農業振興計画があり、今後如何に施策しこれを推進するかである。12年前に当地に8年間生活したことがあるが、当時同町一帯は、雑穀(うずら豆、小豆)産地として全国でも有名であったが、天候に左右され易く豊作の年には莫大な利益をあげるが、一度不作となると一変して貧乏暮らしそのものであった。しかし今回視察して驚くべき進歩、発展を遂げている。その内容は次のとおりである。

(1) 網走市の現況

第1次産業の中心である農業は生産性の高い近代化を目指すため暗渠排水事業、畑地帯土地改良事業などの生産基盤の整備を進めながら畜産物の生産性の確立を図り、将来の農業生産の担い手を育成するため、引き続き農業大学講座の開設や海外派遣研修を進めている。畑作畜産を主体に一戸当たり2千万円の生産を誇るが、機械化は北海道でも有数の地となっている。

(2) 土幌町の現況について

(7) 本町の基幹産業である農業は1戸平均26町、荒れ果てた開拓地であったが、国営の農地造成事業、共同利用模範牧場設置

事業、第2次構造改善事業、農村施設整備事業を徹底的に取り入れ様相は一変している。その上昔の雑穀類の作付から安定作物の馬鈴薯(澱粉材料、内地への種芋出荷、ポテトチップス製造の材料) 砂糖大根、畜産飼料用トモロコシに切り替えられている。その結果、一戸当たり粗収益は年間2千億円となつてゐる。我が入善町においても粗収益50万〜1千万円を目途に推進する必要がある。

(3) 池田町の現況について

(イ) 粗収入が多くても農業用機械の借金で農家が返済に苦労しているとか聞かされたが、現在役場、農協一体となつてリース制を取り入れ運用に当たっており、農機具代も以前の半分に減少しているという。

(ウ) 流通機構の改善であるが、地場産業の育成から販売へと一連の農業構造改善事業に取り組んでゐる。例えば馬鈴薯を生産し澱粉工場へ、種芋の出荷、ポテトチップス工場へと莫大な施設を設備し運用に当たつてゐる点である。これ等も国、道庁、北連の施策、並びに補助策を活用したものといえる。

昔から小作の町池田町といわれ、

耕作面積1戸平均6町歩(入善町の6反歩に相当) 決して豊かな町ではないはずのこの町は、異色の改革運営をしている点である。その内容を見ると、畑作15%、牧畜は土幌町と同じだが、近日西歐式農業を取り入れ畑地に葡萄栽培を進め「十勝ワイン」を製造し全国へ販売すると共に、ワイン喫茶5店舗を経営する等入善町ではおおよそ想像もつかない程の施策運営をしている。いわゆる町長以下町民一人一人が池田町株式会社的なイメージを持つてゐる。また職員1人当たり年間売上げ1千万円を目標に努力する点、大いに見習う点がある。

以上報告すると共に「うまい米作り」は当然のことであるが、今後の施策に対し、付加価値の高い作物の選定と多角経営を如何にすべきか検討したい。



池田町ワイン工場

委員会審査報告

総務委員会

委員長 大林政雄

当委員会に付託された議案3件、陳情2件について審査報告する。

議案第29号57年度入善町一般会計補正予算中、歳入については、4千796万9千円の歳出をするための歳入であり、その財源は国庫負担金や56年度の繰越金で充てられてゐる。今回の補正は国、県の補助事業の決定に併うモデル事業、漁港、災害復旧などの増額決定であり評価する。しかし、海岸保全施設整備事業において国庫補助金5千355万円の減額は非常に残念である。住民の強い設置要望もあることであり、町長は国に対して強力な働きかけを願いたい。歳出のうち消防費については災害時における有線補給するための無線システムの設置に伴う増額であり、町民の生命財産を守る立場から当を得ており当然の処置である。議案第30号低開発地域工業開発促進法施行に伴う課税免除に關

する条例の一部改正については、従来60年迄に立地する企業の特典が62年迄2年間延長するものであり、この条例が十分活用され活力ある入善町をめざして企業誘致に力を入れられたい。議案第31号国民健康保険税条例の一部改正に関する条例については、低所得者階層の方々への減額優遇処置であり今後とも税が上昇しないよう予防指導に一層の努力を願いたい。

陳情第4号宍道公園駐車場並びに農村資料館保存管理の陳情については、現在の資料館だけでは狭く新築地区公民館は建物自体まだ十分耐用年数もあり、資料分館として保存され、かおり高い文化の町をめざし後世に残る資料の保存を願いたい。

以上、議案3件、陳情1件については全員一致により可決すべきもの採択すべきものと決定したが、陳情第5号入善機械工業団地内町有地の譲渡方については、事業の性質上期間をかけて慎重に審査する必要があるもので再度閉会中の継続審査にすべきものと全員一致により決定された。

# 文教厚生委員会

委員長 池原 金与志

文教厚生委員会に付託された議案第29号57年度入善町一般会計補正予算第1号歳出のうち民生費、教育費、請願第14号保育所新設に関する請願、同じく第18号入善町小中学校改築に関する請願について審査した。57年度予算は国、県、町、いずれも厳しい財政状況の中で付託された民生、教育費の増額は評価すべきである。まず小中学校の修繕工事費1千万円の増額は学校改築を一挙に実施するには時間がかかる。その間できるだけ良い環境、施設を補充させ教育格差を生じさせないように今後も改善努力して欲しい。また芸術文化費の移住調査については、札幌大学が富山県また当町より北海道旭川方面へ明治20年代から移住された方々とのつながりを研究調査されることとであり協力を惜しまずまた後世に残る資料として期待する。教育費において新たに21世紀の教育展望など教育全般について審議するため、入善町教育問題審議会を設置することになっている。これまで学校統合審議会は統合だけに焦点を絞っていたものから見て一歩前進している。入選に当られては広く具体的な意見が反映されることを望む。高齢者スポーツ新規目開発推進費30万円は全国10ヶ所の指定に入り、高齢化社会を迎

# 産業建設委員会

委員長 西尾 三郎

当委員会に付託された議案4件、請願3件、陳情1件について審査報告する。  
議案第29号については今回の補正は海岸保全施設整備事業費5千200万円の減額に論が集中した。沿岸住民の生活に関するものであり町の管理海岸（國家山より西）を問わず建設省管理海岸を含めてもう少し国や県などへの働きかけが欲しかった。不満であるが早速町全体の海岸計画も立てられ総合計画へ組み入れられた。議案第32号入善町営住宅管理条例の一部改正については新門山住宅や駅南団地が家族構成により従来の

今後改築が予定される学校は15年、20年の長い年月をかけてはならない。そこには必然的に統合ということも出てくる。教育問題審議会でも十分審議され、現実にも県下でも学校統合問題で紛争を起こしている所もあり、これらの事柄は関係住民の方々の意志、意見を反映の上、住民参加のもとに早急に、積極的に改築に向って新総合計画に取り組まれない。また西中学校体育館の床について色々問題視されているが、調査の上その結果を12月議会迄報告されんことを要望する。以上、意見要望を付し議案は可決すべきもの、請願2件は採択すべきものと決定した。

えてお年寄りに生き由まを与える新しい種目が開発され、ゲートボールのようにチームを呼ぶことを望む。入善町道上部保育所新設に関する請願については、通園される園児の交通安全など総合的に検討の上、地域住民のニーズに答えられたい。また今日保育行政は重要であり今後の問題として、幼児保育と幼児教育の接点をどのような方向で結び付けるか検討すべきでないか。請願の学校改築については

広場及び進入路の消雪工設置や目川地区の道路舗装、藤原地区の消雪工事施工など、対応としてやりやすい性格のものであり地域住民の強い要望に答えられたい。陳情第3号の八幡地区の57年度における道路改良と舗装及び用水路の改修については内容が多岐に亘っており地域住民とのコンセンサスを図りながら緊急度合を有するものから逐次対処されたい。審査の結果、全員一致によりすべて可決、採択すべきものと決定した。

## お知らせ

〔自治功労者表彰〕

去る6月4日、富山県町村議会議長会の臨時総会において、上野幸一議員は在職20年以上、金田利一前議員は在職10年以上として地方自治功労者として町村議会議長会より表彰を受けられました。

## 臨時議会

### 工事契約

可決

第4回入善町議会臨時議会は、6月5日開催され、林道中谷線開設工事の工事契約が可決しました。  
○林道中谷線開設工事

5月20日、町内7社を指名し現場説明を行い5月31日に入札を執行したところ、3千500万円（概内島組）に落札しました。工期は57年10月30日です。

## 編集後記



六月定例議会は57年度予算について最初の軌道修正を行う大事な議会です。小・中学校修繕費など教育費、土木費、災害復旧費など1億円余り増額されましたが、海岸保全施設整備事業費において5千200万円余り減額となり論が集中しました。また近時議会における意見書の提出や、請願、陳情は非常に増えており、それらに費やす時間も多くなってきました。住民の要望が多様化、複雑化している証しと解しています。積極的にこれらに対処して行きたいと思っております。また今回は傍聴席が全部埋まり急ぎよ補助席が持ち込まれました。そのせいか論議にもひととき熱が入りました。梅雨もあけ、毎日暑い日が続きます。皆様の健康を願ひ、そして今年も豊作であるよう祈念いたします。

編集委員

- 上田 義信 西尾 三郎
- 石川 昭男 上島 藤吉
- 大林 政雄 本田 幸光
- 池原金与志 九里 郁子